

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報 おおつ

Proud!
Japan
東日本大震災の復興を支援しよう

Public relations
OZU TOWN

広報 おおつ 2012 9

発行・編集 ■大津市・企画課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>
印刷 ■フォア印刷株式会社
〒869-0001 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地

フォント
JFD
フォント
を採用しています。

今月のみどころ

菊池地域合同特集
はじめの3歩

健康的な毎日を過ごすため、自分に合った運動を見つけてみませんか

第67回熊本県民体育祭菊池大会

9月15日(土)・16日(日)開催

クローズアップ大津人

村上セツ子さん

9
SEPTEMBER 2012

clozu-up
Ozu-jin
クローズアップ 大津人



「第12回鹿児島浜節全国大会」では、総合優勝だけでなく、寿年の部二部優勝、鹿児島県知事賞、日本民謡協会賞など多くの表彰を受けている



うた 唄う人の個性が出る、 それが民謡の魅力

村上セツ子さん(杉水)

8月に鹿児島で開催された民謡の全国大会で総合優勝を果たした村上セツ子さん。彼女は母親の介護をしながら、民謡やミニバレー、三味線などの趣味の時間を楽しんでいる。今回は、そんな村上さんをクローズアップする。

村上さんは98歳の寝たきりの母親を姉妹と交代で介護している。在宅介護なので、介護する側にかかる負担は大きい。村上さんは趣味と介護をうまく両立させながらストレスをため込まないようにしている。

「1時期はストレスでかなり思い詰めたこともありましたが、今は仲間と一緒に楽しくミニバレーをしたり、民謡を唄って大きな声を出したりしてストレスを解消しています」と話す村上さんは、自分の中で介護と趣味の時間のバランスがうまく取れているようだ。

村上さんは子育て中の息抜きとして民謡を始めた。30年以上続けてきた実力は折り紙付きで、今回出場した「第12回鹿児島浜節全国大会」では総合優勝を果たしている。「多くの人は「民謡は難しい」というイメージを持っているようですが、実際はそうでもないんです。同じ曲を唄ってもそれぞれの個性が出てくるんですよ。それが民謡の魅力なんです」と村上さんは笑みを浮かべた。

日本各地に昔から伝わっている民謡は、日本の文化の1つだと言える。そんな日本の文化を継承していきたいと思うのが村上さんの中にはある。「認知症の予防にもなります。民謡は死ぬまで続けていきたいですね」人生の楽しみ方を知っている彼女の歌声は、これからも高らかに響き続けるだろう。

こころの声

▼今年の夏は、夏らしいことを何もしましま過ぎ去っていきました。広報を担当してから1カ月があつという間に過ぎていくような気がします。それだけ無我夢中で毎日過ごしているということなのでしょう。単に、時間の使い方が下手なだけかもしれません。上手な時間の使い方と片付けの仕方を知りたいです。(TS)

▼最近、ウォーキングやジョギングをしている人を見かけやすくなりました。健康意識の高まりでしょうか。昔から運動が苦手な私は、健康のために少しは運動をしなければ、と思いつつ行動に移すことができていません。今回の合同特集が、私を含め多くの人が運動を楽しむきっかけになればいいと思います。(S)